

令和 6 年度 市長記者会見 発言要旨

令和 6 年 4 月 30 日 (火) 開催分

< 開催時間 > 14:00~14:40

< 会 場 > 庁議室 (市役所本館3階)

< 会見案件 > 大交流時代 ロケットスタート!
スロベニア共和国との交流事業
新たな取組「西行市長がおじゃまします」
新企画『福いいナー!』を探せ～「楽しい・安心・元気」な福井人～

< 出 席 者 > 市長、副市長、総務部長、市長公室長、総合政策課長、観光振興課長、スポーツ課長、都市整備課長

< 質疑応答 >

【記者】

北陸新幹線の開業により、桜マラソンや桜まつりなどで街が賑わったとのことですが、開業後の実感や期待以上の盛り上がりについて、市長のご感想をお聞かせください。

【市長】

ロケットスタートまでは想像していませんでしたが、想像以上の盛り上がりであり、ありがたいと思っています。新幹線の効果や福井の認知度向上が要因と考えられます。新幹線開業を見据え、今まで準備をしてきたことが実を結んだと感じています。

【記者】

観光客の増加が一過性で終わらないよう、今後の施策について教えてください。

【市長】

予算を伴う施策は予算対応したいと思っていますし、それ以外にもビジョンに基づいた具体的な計画を進めています。特に、インバウンドにも力を入れ、福井の魅力を世界に発信していきます。また、秋にはデスティネーションキャンペーンを実施し、外国人観光客の増加を期待しています。

加えて、コンベンションの効果も大きいと考えており、大規模な参加が期待されます。特に秋口のイベント開催について、福井からの大きな情報発信の一つになるイベントを作っていこうと考えています。また、バスケットボールチーム

のブローウィンズも大きな情報発信力があると思っており、スポーツもまちのにぎわいに繋げていきたいと考えています。

【記者】

今年の秋のイベントについて具体的な計画はありますか。

【市長】

イベントの具体的な内容は未定ですが、市と JETS や LDH JAPAN とのつながりを活かし、ダンスを中心としたイベントができないか検討しています。来年度以降の開催につなげる何かを今年度の補正予算で組むことを検討しています。また、中学生はダンスへの関心が高いというアンケート結果もあり、市にはダンスでまちを盛り上げる素地があると考えています。

【記者】

インバウンド観光の課題として、福井の魅力は豊富であるものの、観光客数が伸び悩んでいると報告されています。この根本的な原因について市長のご見解をお聞かせください。また、コンベンションの誘致状況について教えてください。

【市長】

インバウンド観光の課題の一つは、情報発信力の不足だと考えます。街の特徴や目的地としての魅力を広く知らせる必要があります。以前アメリカの新聞に 2024 年に訪れるべき世界の 12カ所に、日本の最もミステリアスな場所として福井が取り上げられましたが、これは良い方向だと思います。

他には、姉妹都市を通じて情報発信を強化する取り組みも必要です。

また、コンベンションの誘致については、500 人以上の規模のイベントを積極的に受け入れています。これは福井の魅力をアピールする良い機会であり、新幹線開業をセールスポイントとして活用しています。情報発信や施策の強化が必要ですが、これらの取り組みによりインバウンド観光の振興に貢献できると考えます。

【記者】

市長の新たな取り組み「西行市長がおじゃまします」に関して、情報の発信頻度は、どのくらいですか。

【市長】

新たな取り組みは公務と並行して行われるため、毎月 1 回のペースで行くことを目指しています。ただし、公務のスケジュールや相手方の都合も考慮しながら、柔軟に対応しています。この取り組みを通じて、地域の声を収集し、さらな

る交流を図りたいと考えています。

【記者】

また、この取り組みを通じてどのような成果や効果を期待されているか、意気込みなどがあれば教えてください。

【市長】

この取り組みを通じて、現場の声を直接聞くことで地域の課題やニーズを把握し、それに応じた施策を検討したいと考えています。例えば、子育て支援や地域の活性化に関するアイデアが生まれるかもしれません。地域の皆さんと連携しながら、より良い未来を築いていきたいと思っています。

【記者】

秋にイベントを企画されるとお話がありましたが、具体的な内容や予定について教えていただけますか。

【市長】

来年の秋に向けて、大規模なイベントをやりたいと思っています。具体的な形は未定ですが、ダンスを中心としたイベントを考えています。本格的なイベントは来年になる見込みですが、今年はその下準備や小規模なイベントを行うかもしれません。

【記者】

今年は小規模なイベントの実施が検討されているということですね。

【市長】

はい、今年は予算の関係や時間の制約があるため、本格的なイベントは難しいと考えています。しかし、今年はその下準備や実施可能な範囲でのイベントを検討しています。詳細は補正予算の段階でお知らせする予定です。